庁 舎 移 転 構 想 （案）

H21. 2. 13　現在

□ 庁舎問題

・庁舎の老朽化
・執務環境の狭あい化
・本庁機能の分散

□ 新庁舎建設の凍結

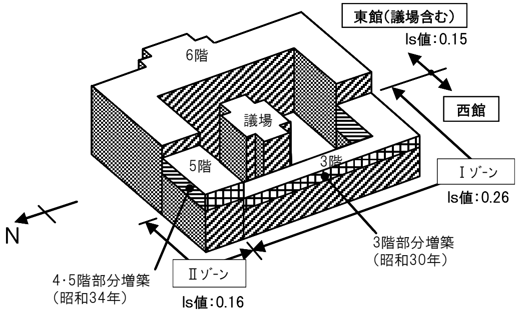
・ 庁舎問題を解決するための
行政棟・議会棟（H8実施設計）
⇒　工事着工を凍結

□ 本館の耐震性能が極めて低いことが判明　（H18年1月）

・本館は、耐震診断の結果、東館・西館とも、耐震性能が極めて低く、地震（震度6強から7程度の大規模地震）の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

東館 ：	最小 Is値		0. 15	
西館 ：	最小 Is値	Ⅰゾーン	0. 26	Ⅱゾーン　0. 16

本館の耐震性能



□ 府議会庁舎整備検討委員会（H18年6～9月）

・さらに精度の高い調査・検討を深め、総合的に判断しうる条件を整えること。

・庁舎整備についての具体的な考えをとりまとめ、府議会に提示すること。

□ 府庁本館の建替えについての基本的な考え方（案）（H19年5月）

・本館は引き続き、庁舎として使用することとし、早急に耐震補強に着手する。

□ 府庁本館の耐震改修設計委託費の補正予算提案（H19年9月定例会）

〔府議会総務常任委員会　附帯決議〕

・本館の耐震補強工事に着手するまでに、具体的な全体構想の策定を行い、議会に対し十分な説明を行うこと。

・本館の耐震補強工事の内容について、さらに検討を深めること。

・防災情報センターの整備拡充については、早急に規模・機能の精査を進め、具体的な整備内容を明らかにすること。

□ 庁舎周辺エリア全体構想（素案）（H20年9月）

・この本館を耐震補強して使い続けることが本当に効率的・経済的なのか
・早期に庁舎環境の抜本的な改善を図る方法はないか
という観点から
・庁舎のあり方について、「耐震補強」「建替え」「WTC移転」の3案を提示

■ 3案の比較

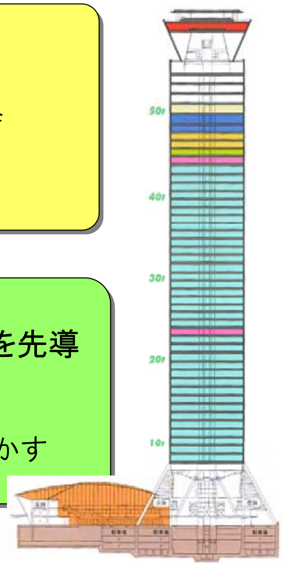
	WTC移転（案）	耐震補強（案）	建替え（案）
アクセス	△	○	○
建物の性能	○	△	◎
コスト	◎	○	×
スピード	◎	○	×
防災	△	○	○
		老朽・分散化など課題先送り	財政的に困難

府庁舎整備

○ 耐震化の早期実現
○ 府民にとってわかりやすい庁舎
○ 費用対効果の最大化

大阪再生

WTC移転によって「改革」「変化」を先導
・ベイエリア・大阪城周辺を核として、
「人・モノ・情報」をダイナミックに動かす



以上の観点から、WTC移転（案）が最も妥当と判断